

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
串間市	市民病院	8
えびの市	えびの市立病院	9
高原町	国保高原病院	10
都農町	都農町国民健康保険病院	11
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	12
美郷町	西郷病院	13
高千穂町	国保病院	14
日之影町	国保病院	15
五ヶ瀬町	国保病院	16

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 宮崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	100,625 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	459	70.4	62.3	75.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	35	49.6	31.5	68.3
感染症	8	-	-	-
計	502	67.8	59.1	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.7	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	697,283,029	
標準財政規模(千円)	341,128,195	
財政力指数	0.34168	
経常収支比率(%)	83.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	95.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,194,024			
1 経常収益	15,194,024			
(1) 医業収益	12,344,917			
(うち修正医業収益)	12,007,923			
入院収益	8,045,053			
外来収益	3,829,296			
診療収入計	11,874,349			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	470,568			
(うち他会計負担金)	336,994			
(2) 医業外収益	2,849,107			
(うち国・都道府県補助金)	35,955			
(うち他会計補助・負担金)	2,256,011			
(うち長期前受金戻入)	529,756			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,287,316			
2 経常費用	16,287,316			
(1) 医業費用	15,538,931			
職員給与費	7,809,710	63.3	60.2	54.0
材料費	4,156,741	33.7	25.3	29.9
(うち薬品費)	2,677,660	21.7	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,477,057	12.0	11.6	13.4
減価償却費	1,007,004	8.2	9.0	8.1
経費	2,426,205	19.7	22.5	19.6
(うち委託料)	1,526,095	12.4	12.5	12.7
研究研修費	34,121			
資産減耗費	105,150			
(2) 医業外費用	748,385			
(うち支払利息)	32,990	0.3	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,093,292			
純損益	-1,093,292			
累積欠損金	1,357,819			
経常収支比率	93.3		105.6	105.8
医業収支比率	79.4		85.1	89.1
修正医業収支比率	77.3		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.0		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	17.1		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	77.4		93.6	97.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,032,698
1 固定資産	58,903,488
(1) 有形固定資産	54,729,247
(2) 無形固定資産	453,500
(3) 投資その他の資産	3,720,741
2 流動資産	19,129,210
(1) 現金及び預金	2,277,056
(2) 未収金及び未収収益	7,401,951
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	220,087
3 繰延資産	-
負債合計	70,432,858
1 固定負債	49,188,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,068,593
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,730,274
(7) 一ス債務	1,389,882
2 流動負債	17,270,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,455,254
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,072,663
(6) リ一ス債務	128,141
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,216,535
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,973,623
(1) 長期前受金	44,063,160
(2) 長期前受金収益化累計額()	40,089,537
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,599,840
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,143,556
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,254,032
負債・資本合計	78,032,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,502,968	2,593,005
資本勘定繰入	485,810	485,810
計	2,988,778	3,078,815

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名					
病院名 延岡病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,234 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	406	68.7	66.8	75.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	410	68.0	66.2	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	12.1	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	697,283,029	
標準財政規模(千円)	341,128,195	
財政力指数	0.34168	
経常収支比率(%)	83.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	95.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,613,615			
1 経常収益	13,613,615			
(1) 医業収益	11,032,977			
(うち修正医業収益)	10,696,314			
入院収益	7,881,532			
外来収益	2,706,180			
診療収入計	10,587,712			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	445,265			
(うち他会計負担金)	336,663			
(2) 医業外収益	2,580,638			
(うち国・都道府県補助金)	21,146			
(うち他会計補助・負担金)	1,967,613			
(うち長期前受金戻入)	566,234			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,406,113			
2 経常費用	12,406,113			
(1) 医業費用	11,670,922			
職員給与費	5,381,817	48.8	60.2	57.5
材料費	3,566,115	32.3	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,914,355	17.4	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,649,646	15.0	11.6	12.6
減価償却費	895,011	8.1	9.0	8.1
経費	1,779,774	16.1	22.5	19.1
(うち委託料)	1,076,912	9.8	12.5	10.0
研究研修費	27,773			
資産減耗費	20,432			
(2) 医業外費用	735,191			
(うち支払利息)	166,188	1.5	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	1,207,502			
純損益	1,207,502			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.7		105.6	105.7
医業収支比率	94.5		85.1	88.4
修正医業収支比率	91.6		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.9		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	16.9		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	91.2		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,032,698
1 固定資産	58,903,488
(1) 有形固定資産	54,729,247
(2) 無形固定資産	453,500
(3) 投資その他の資産	3,720,741
2 流動資産	19,129,210
(1) 現金及び預金	2,277,056
(2) 未収金及び未収収益	7,401,951
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	220,087
3 繰延資産	-
負債合計	70,432,858
1 固定負債	49,188,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,068,593
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,730,274
(7) 一ス債務	1,389,882
2 流動負債	17,270,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,455,254
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,072,663
(6) リ一ス債務	128,141
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,216,535
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,973,623
(1) 長期前受金	44,063,160
(2) 長期前受金収益化累計額()	40,089,537
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,599,840
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,143,556
(1) 資本金剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,254,032
負債・資本合計	78,032,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,233,296	2,304,276
資本勘定繰入	989,205	989,205
計	3,222,501	3,293,481

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名					
病院名 日南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,668 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	277	65.5	65.2	81.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	281	64.6	64.2	80.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	16.0	16.6

設立団体の状況	
人口(人)	1,069,576
決算規模(千円)	697,283,029
標準財政規模(千円)	341,128,195
財政力指数	0.34168
経常収支比率(%)	83.7
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	10.6
将来負担比率(%)	95.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,832,164			
1 経常収益	6,744,453			
(1) 医業収益	4,950,209			
(うち修正医業収益)	4,899,411			
入院収益	3,542,757			
外来収益	1,271,373			
診療収入計	4,814,130			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	136,079			
(うち他会計負担金)	50,798			
(2) 医業外収益	1,794,244			
(うち国・都道府県補助金)	22,562			
(うち他会計補助・負担金)	1,403,287			
(うち長期前受金戻入)	359,252			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	87,711			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,814,720			
2 経常費用	6,814,720			
(1) 医業費用	6,438,064			
職員給与費	3,418,612	69.1	60.2	64.0
材料費	1,167,078	23.6	25.3	19.9
(うち薬品費)	573,137	11.6	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	592,145	12.0	11.6	9.6
減価償却費	593,773	12.0	9.0	9.9
経費	1,232,697	24.9	22.5	28.4
(うち委託料)	768,528	15.5	12.5	13.7
研究研修費	14,765			
資産減耗費	11,139			
(2) 医業外費用	376,656			
(うち支払利息)	115,593	2.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-70,267			
純損益	17,444			
累積欠損金	9,329,776			
経常収支比率	99.0		105.6	104.2
医業収支比率	76.9		85.1	81.4
修正医業収支比率	76.1		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.4		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	21.3		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	77.6		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	78,032,698
1 固定資産	58,903,488
(1) 有形固定資産	54,729,247
(2) 無形固定資産	453,500
(3) 投資その他の資産	3,720,741
2 流動資産	19,129,210
(1) 現金及び預金	2,277,056
(2) 未収金及び未収収益	7,401,951
(3) 貸倒引当金()	64,931
(4) 貯蔵品	220,087
3 繰延資産	-
負債合計	70,432,858
1 固定負債	49,188,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	44,068,593
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,730,274
(7) 一ス債務	1,389,882
2 流動負債	17,270,486
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,455,254
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,072,663
(6) リ一ス債務	128,141
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,216,535
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,973,623
(1) 長期前受金	44,063,160
(2) 長期前受金収益化累計額()	40,089,537
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,599,840
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-5,143,556
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-5,254,032
負債・資本合計	78,032,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,415,197	1,454,085
資本勘定繰入	899,701	899,701
計	2,314,898	2,353,786

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮崎県	
市町村・組合名	宮崎市		
病院名	宮崎市立田野病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,129 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	42	87.7	77.6	88.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	87.7	77.6	88.9
平均在院日数(一般病床のみ)		25.8	21.0	20.1

設立団体の状況	
人口(人)	401,339
決算規模(千円)	198,063,169
標準財政規模(千円)	92,981,394
財政力指数	0.69
経常収支比率(%)	84.0
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	6.6
将来負担比率(%)	41.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,219,119			
1 経常収益	1,011,811			
(1) 医業収益	723,763			
(うち修正医業収益)	680,587			
入院収益	477,234			
外来収益	189,676			
診療収入計	666,910			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,853			
(うち他会計負担金)	43,176			
(2) 医業外収益	288,048			
(うち国・都道府県補助金)	2,450			
(うち他会計補助・負担金)	159,829			
(うち長期前受金戻入)	2,997			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	207,308			
(うち他会計繰入金)	167,968			
総費用	1,249,339			
2 経常費用	990,307			
(1) 医業費用	720,356			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	62,712	8.7	9.0	12.7
経費	657,361	90.8	22.5	43.7
(うち委託料)	176,568	24.4	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	283			
(2) 医業外費用	269,951			
(うち支払利息)	13,127	1.8	1.2	1.2
(3) 特別損失	259,032			
損益				
経常				
純損益	-30,220			
累積欠損金	1,240,669			
経常収支比率	102.2		105.6	102.4
医業収支比率	100.5		85.1	63.8
修正医業収支比率	94.5		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	20.1		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	30.4		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	81.7		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,604,036
1 固定資産	1,072,545
(1) 有形固定資産	1,072,545
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	531,491
(1) 現金及び預金	376,363
(2) 未収金及び未収収益	155,509
(3) 貸倒引当金()	381
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,008,424
1 固定負債	899,154
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	652,199
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	240,000
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	6,955
2 流動負債	68,438
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,917
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	3,971
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,446
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	40,832
(1) 長期前受金	60,560
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,728
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	595,612
1 資本金	1,836,281
2 剰余金	-1,240,669
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,240,669
負債・資本合計	1,604,036
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	203,005	370,973
資本勘定繰入	22,072	22,072
計	225,077	393,045

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	日南市				
病院名	日南市立中部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,377 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	88	60.2	69.1	73.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	60.2	69.1	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.1	18.3

設立団体の状況		
人口(人)	50,848	
決算規模(千円)	37,068,377	
標準財政規模(千円)	15,819,025	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	53.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,430,697			
1 経常収益	1,430,693			
(1) 医業収益	1,086,567			
(うち修正医業収益)	1,030,825			
入院収益	648,363			
外来収益	295,224			
診療収入計	943,587			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	142,980			
(うち他会計負担金)	55,742			
(2) 医業外収益	344,126			
(うち国・都道府県補助金)	20,673			
(うち他会計補助・負担金)	259,616			
(うち長期前受金戻入)	48,244			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,494,871			
2 経常費用	1,491,818			
(1) 医業費用	1,432,929			
職員給与費	936,758	86.2	60.2	76.8
材料費	101,879	9.4	25.3	14.4
(うち薬品費)	36,381	3.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,454	4.6	11.6	6.0
減価償却費	105,243	9.7	9.0	11.4
経費	282,556	26.0	22.5	31.5
(うち委託料)	106,015	9.8	12.5	14.5
研究研修費	713			
資産減耗費	5,780			
(2) 医業外費用	58,889			
(うち支払利息)	17,812	1.6	1.2	1.4
(3) 特別損失	3,053			
損益	経常損益	-61,125		
	純損益	-64,174		
累積欠損金	265,953			
経常収支比率	95.9		105.6	103.4
医業収支比率	75.8		85.1	74.3
修正医業収支比率	71.9		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	22.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	74.8		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,018,698
1 固定資産	1,735,400
(1) 有形固定資産	1,734,807
(2) 無形固定資産	593
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	283,298
(1) 現金及び預金	92,774
(2) 未収金及び未収収益	175,190
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	15,334
3 繰延資産	-
負債合計	1,719,281
1 固定負債	1,174,588
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,078,588
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	96,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	334,227
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	149,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	70,997
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	113,471
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	210,466
(1) 長期前受金	1,219,256
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,008,790
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	299,417
1 資本金	525,144
2 剰余金	-225,727
(1) 資本金剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-231,327
負債・資本合計	2,018,698
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	310,700	315,358
資本勘定繰入	40,000	68,100
計	350,700	383,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	小林市				
病院名	小林市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,077 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	143	65.2	67.4	59.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	24.0	11.0	-
計	147	64.1	65.9	57.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	15.3	15.9

設立団体の状況	
人口(人)	43,670
決算規模(千円)	31,405,574
標準財政規模(千円)	14,767,360
財政力指数	0.38
経常収支比率(%)	90.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.5
将来負担比率(%)	77.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,758,353			
1 経常収益	2,735,816			
(1) 医業収益	2,208,734			
(うち修正医業収益)	2,090,213			
入院収益	1,625,129			
外来収益	405,080			
診療収入計	2,030,209			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	178,525			
(うち他会計負担金)	118,521			
(2) 医業外収益	527,082			
(うち国・都道府県補助金)	112,035			
(うち他会計補助・負担金)	270,905			
(うち長期前受金戻入)	99,460			
(うち資本費繰入収益)	8,990			
(3) 特別利益	22,537			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,728,114			
2 経常費用	2,728,114			
(1) 医業費用	2,602,653			
職員給与費	1,671,274	75.7	60.2	66.7
材料費	438,244	19.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	288,865	13.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	145,209	6.6	11.6	9.2
減価償却費	177,825	8.1	9.0	10.4
経費	307,157	13.9	22.5	28.7
(うち委託料)	184,021	8.3	12.5	13.3
研究研修費	5,464			
資産減耗費	2,689			
(2) 医業外費用	125,461			
(うち支払利息)	49,380	2.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	7,702			
純損益	30,239			
累積欠損金	1,230,018			
経常収支比率	100.3		105.6	105.7
医業収支比率	84.9		85.1	80.6
修正医業収支比率	80.3		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.1		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	86.0		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,502,920
1 固定資産	3,847,584
(1) 有形固定資産	3,840,355
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	7,229
2 流動資産	655,336
(1) 現金及び預金	250,342
(2) 未収金及び未収収益	367,819
(3) 貸倒引当金()	1,883
(4) 貯蔵品	38,896
3 繰延資産	-
負債合計	4,969,653
1 固定負債	3,371,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,311,297
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	646,000
(6) 引当金	401,839
(7) 一ス債務	11,866
2 流動負債	514,518
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,438
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	65,000
(5) 引当金	115,950
(6) リ一ス債務	4,188
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	161,245
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,084,133
(1) 長期前受金	2,542,096
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,457,963
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-466,733
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,110,317
(1) 資本金剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,230,018
負債・資本合計	4,502,920
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	466,733
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	389,426	389,426
資本勘定繰入	58,430	58,430
計	447,856	447,856

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	串間市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	120	61.0	56.3	62.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	61.0	56.3	62.8
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	19.6	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	16,822	
決算規模(千円)	14,328,862	
標準財政規模(千円)	7,004,253	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	51.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,005,025			
1 経常収益	2,005,025			
(1) 医業収益	1,636,153			
(うち修正医業収益)	1,617,806			
入院収益	1,040,552			
外来収益	509,665			
診療収入計	1,550,217			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	85,936			
(うち他会計負担金)	18,347			
(2) 医業外収益	368,872			
(うち国・都道府県補助金)	43,912			
(うち他会計補助・負担金)	197,785			
(うち長期前受金戻入)	79,738			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,142,475			
2 経常費用	2,141,804			
(1) 医業費用	2,033,325			
職員給与費	1,122,523	68.6	60.2	66.7
材料費	240,183	14.7	25.3	17.8
(うち薬品費)	115,364	7.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	124,819	7.6	11.6	9.2
減価償却費	172,868	10.6	9.0	10.4
経費	494,265	30.2	22.5	28.7
(うち委託料)	255,351	15.6	12.5	13.3
研究研修費	2,826			
資産減耗費	660			
(2) 医業外費用	108,479			
(うち支払利息)	38,499	2.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	671			
損益				
経常				
純損益	-136,779			
純損益	-137,450			
累積欠損金	2,020,689			
経常収支比率	93.6		105.6	105.7
医業収支比率	80.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	79.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.8		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	10.8		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	83.5		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,153,246
1 固定資産	2,800,406
(1) 有形固定資産	2,777,446
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	22,582
2 流動資産	352,840
(1) 現金及び預金	72,724
(2) 未収金及び未収収益	273,447
(3) 貸倒引当金()	111
(4) 貯蔵品	6,039
3 繰延資産	-
負債合計	4,273,969
1 固定負債	2,903,640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,777,967
(2) その他の企業債	920,600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	202,026
(7) 一ス債務	3,047
2 流動負債	752,767
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	172,894
(2) その他の企業債	130,000
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,317
(6) リ一ス債務	3,672
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	83,478
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	617,562
(1) 長期前受金	1,551,795
(2) 長期前受金収益化累計額()	934,233
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,120,723
1 資本金	543,019
2 剰余金	-1,663,742
(1) 資本剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-2,020,689
負債・資本合計	3,153,246
不良債務	227,033
実質資金不足額	227,033
資本不足額()	1,120,723
資本不足額(繰延収益控除後)()	503,161
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	297,449	216,132
資本勘定繰入	90,967	63,868
計	388,416	280,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	227,033	13.9
令和2年度	81,136	5.5
令和元年度	241,424	15.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	123.5
健全化法上の資金不足額(千円)	1,062,033
健全化法上の資金不足比率(%)	64.9
地財法上の資金不足額(千円)	1,147,633
地財法上の資金不足比率(%)	70.1

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	えびの市		
病院名	えびの市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,569 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	56.0	51.6	62.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	56.0	51.6	62.4
平均在院日数(一般病床のみ)		31.2	26.3	29.0

設立団体の状況		
人口(人)	17,638	
決算規模(千円)	14,965,042	
標準財政規模(千円)	6,879,029	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	89.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	917,655			
1 経常収益	917,655			
(1) 医業収益	551,182			
(うち修正医業収益)	491,267			
入院収益	244,687			
外来収益	213,031			
診療収入計	457,718			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	93,464			
(うち他会計負担金)	59,915			
(2) 医業外収益	366,473			
(うち国・都道府県補助金)	175,200			
(うち他会計補助・負担金)	179,939			
(うち長期前受金戻入)	9,380			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	845,888			
2 経常費用	845,888			
(1) 医業費用	821,500			
職員給与費	501,366	91.0	60.2	76.8
材料費	136,160	24.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	117,738	21.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,812	3.1	11.6	6.0
減価償却費	40,862	7.4	9.0	11.4
経費	142,363	25.8	22.5	31.5
(うち委託料)	75,225	13.6	12.5	14.5
研究研修費	272			
資産減耗費	477			
(2) 医業外費用	24,388			
(うち支払利息)	319	0.1	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益	71,767			
純損益	71,767			
累積欠損金	642,617			
経常収支比率	108.5		105.6	103.4
医業収支比率	67.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	59.8		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	43.5		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	26.1		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	80.1		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	886,374
1 固定資産	390,875
(1) 有形固定資産	390,347
(2) 無形固定資産	504
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	495,499
(1) 現金及び預金	316,852
(2) 未収金及び未収収益	165,154
(3) 貸倒引当金()	264
(4) 貯蔵品	12,757
3 繰延資産	-
負債合計	459,165
1 固定負債	321,507
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,283
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	318,224
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	77,396
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,166
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	40,355
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,634
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	60,262
(1) 長期前受金	138,394
(2) 長期前受金収益化累計額()	78,132
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	427,209
1 資本金	1,051,097
2 剰余金	-623,888
(1) 資本金剰余金	3,153
(2) 利益剰余金	-627,041
負債・資本合計	886,374
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,854	239,854
資本勘定繰入	4,601	4,601
計	244,455	244,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	116.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		宮城県	
市町村・組合名	高原町		
病院名	国保高原病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,051 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	56	46.4	55.5	45.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	46.4	55.5	45.4
平均在院日数(一般病床のみ)		26.4	26.1	23.2

設立団体の状況		
人口(人)	8,639	
決算規模(千円)	7,596,835	
標準財政規模(千円)	3,769,304	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	87.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,000,281			
1 経常収益	992,597			
(1) 医業収益	587,442			
(うち修正医業収益)	549,451			
入院収益	261,813			
外来収益	200,548			
診療収入計	462,361			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	125,081			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	405,155			
(うち国・都道府県補助金)	168,120			
(うち他会計補助・負担金)	201,639			
(うち長期前受金戻入)	21,097			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7,684			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,033,983			
2 経常費用	989,411			
(1) 医業費用	950,409			
職員給与費	487,310	83.0	60.2	76.8
材料費	63,002	10.7	25.3	14.4
(うち薬品費)	22,278	3.8	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,933	6.6	11.6	6.0
減価償却費	49,475	8.4	9.0	11.4
経費	335,486	57.1	22.5	31.5
(うち委託料)	114,102	19.4	12.5	14.5
研究研修費	3,037			
資産減耗費	12,099			
(2) 医業外費用	39,002			
(うち支払利息)	17,738	3.0	1.2	1.4
(3) 特別損失	44,572			
損益	3,186			
純損益	-33,702			
累積欠損金	33,702			
経常収支比率	100.3		105.6	103.4
医業収支比率	61.8		85.1	74.3
修正医業収支比率	57.8		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	24.1		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	40.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	24.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	76.1		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,285,583
1 固定資産	1,080,521
(1) 有形固定資産	1,080,261
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	260
2 流動資産	205,062
(1) 現金及び預金	65,407
(2) 未収金及び未収収益	139,982
(3) 貸倒引当金()	6,251
(4) 貯蔵品	5,924
3 繰延資産	-
負債合計	1,053,529
1 固定負債	782,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	738,130
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	44,572
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	195,769
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,918
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,545
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	70,000
(8) 未払金及び未払費用	35,306
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	75,058
(1) 長期前受金	409,256
(2) 長期前受金収益化累計額()	334,198
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	232,054
1 資本金	32,012
2 剰余金	200,042
(1) 資本金剰余金	3,898
(2) 利益剰余金	196,144
負債・資本合計	1,285,583
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,630	239,630
資本勘定繰入	30,610	34,309
計	270,240	273,939

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 宮城県	
市町村・組合名	都農町				
病院名	都農町国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,978 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救感		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	61	43.8	43.8	58.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	45.3	24.7	-
計	65	43.8	42.6	54.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	12.2	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	9,906
決算規模(千円)	28,769,888
標準財政規模(千円)	3,923,370
財政力指数	0.31
経常収支比率(%)	82.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	8.3
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,091,000			
1 経常収益	921,542			
(1) 医業収益	734,704			
(うち修正医業収益)	696,869			
入院収益	319,415			
外来収益	257,741			
診療収入計	577,156			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	157,548			
(うち他会計負担金)	37,835			
(2) 医業外収益	186,838			
(うち国・都道府県補助金)	1,082			
(うち他会計補助・負担金)	104,881			
(うち長期前受金戻入)	74,001			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	169,458			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,081,327			
2 経常費用	1,081,327			
(1) 医業費用	1,037,643			
職員給与費	615,475	83.8	60.2	76.8
材料費	85,190	11.6	25.3	14.4
(うち薬品費)	28,217	3.8	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	49,244	6.7	11.6	6.0
減価償却費	124,155	16.9	9.0	11.4
経費	210,517	28.7	22.5	31.5
(うち委託料)	96,022	13.1	12.5	14.5
研究研修費	791			
資産減耗費	1,515			
(2) 医業外費用	43,684			
(うち支払利息)	5,501	0.7	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	85.2		105.6	103.4
医業収支比率	70.8		85.1	74.3
修正医業収支比率	67.2		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	72.0		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,476,993
1 固定資産	1,832,076
(1) 有形固定資産	1,832,076
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	644,917
(1) 現金及び預金	493,058
(2) 未収金及び未収収益	143,422
(3) 貸倒引当金()	1,282
(4) 貯蔵品	9,719
3 繰延資産	-
負債合計	2,300,573
1 固定負債	1,635,991
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,428,156
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	207,835
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	285,986
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	100,090
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,275
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	151,621
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	378,596
(1) 長期前受金	1,036,731
(2) 長期前受金収益化累計額()	658,135
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	176,420
1 資本金	376,460
2 剰余金	-200,040
(1) 資本剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	-240,509
負債・資本合計	2,476,993
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,716	142,716
資本勘定繰入	60,756	221,756
計	203,472	364,472

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	32.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	椎葉村				
病院名	椎葉村国民健康保険病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	30	49.4	43.1	52.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	49.4	43.1	52.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	17.0	19.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,503	
決算規模(千円)	6,448,266	
標準財政規模(千円)	3,159,952	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	78.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	510,212			
1 経常収益	510,212			
(1) 医業収益	362,619			
(うち修正医業収益)	326,325			
入院収益	140,610			
外来収益	155,529			
診療収入計	296,139			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	66,480			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	147,593			
(うち国・都道府県補助金)	20,810			
(うち他会計補助・負担金)	104,926			
(うち長期前受金戻入)	20,912			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	503,264			
2 経常費用	503,264			
(1) 医業費用	482,999			
職員給与費	295,892	81.6	60.2	86.6
材料費	82,919	22.9	25.3	12.9
(うち薬品費)	66,618	18.4	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,362	3.7	11.6	5.1
減価償却費	37,997	10.5	9.0	12.7
経費	64,037	17.7	22.5	43.7
(うち委託料)	22,492	6.2	12.5	21.5
研究研修費	272			
資産減耗費	1,882			
(2) 医業外費用	20,265			
(うち支払利息)	5,151	1.4	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
損益	6,948			
純損益	6,948			
累積欠損金	282,510			
経常収支比率	101.4		105.6	102.4
医業収支比率	75.1		85.1	63.8
修正医業収支比率	67.6		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	27.7		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	38.9		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	27.7		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	73.3		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,138,126
1 固定資産	559,541
(1) 有形固定資産	559,541
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	578,585
(1) 現金及び預金	525,975
(2) 未収金及び未収収益	51,767
(3) 貸倒引当金()	249
(4) 貯蔵品	1,092
3 繰延資産	-
負債合計	303,167
1 固定負債	61,124
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,124
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	74,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,876
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,955
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,082
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	167,103
(1) 長期前受金	313,229
(2) 長期前受金収益化累計額()	146,126
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	834,959
1 資本金	1,090,840
2 剰余金	-255,881
(1) 資本金剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-282,510
負債・資本合計	1,138,126
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	163,138	141,220
資本勘定繰入	18,612	18,612
計	181,750	159,832

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名		美郷町			
病院名		西郷病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,859 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	29	69.0	78.4	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	69.0	78.4	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	20.0	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	4,826	
決算規模(千円)	8,854,369	
標準財政規模(千円)	5,003,109	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	82.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	698,322			
1 経常収益	698,322			
(1) 医業収益	474,343			
(うち修正医業収益)	438,049			
入院収益	202,862			
外来収益	190,941			
診療収入計	393,803			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,540			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	223,979			
(うち国・都道府県補助金)	17,748			
(うち他会計補助・負担金)	188,404			
(うち長期前受金戻入)	16,003			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	666,175			
2 経常費用	665,666			
(1) 医業費用	640,585			
職員給与費	416,204	87.7	60.2	86.6
材料費	87,043	18.4	25.3	12.9
(うち薬品費)	51,567	10.9	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,516	6.4	11.6	5.1
減価償却費	43,125	9.1	9.0	12.7
経費	92,795	19.6	22.5	43.7
(うち委託料)	27,372	5.8	12.5	21.5
研究研修費	1,081			
資産減耗費	337			
(2) 医業外費用	25,081			
(うち支払利息)	4,228	0.9	1.2	1.2
(3) 特別損失	509			
損益	32,656			
純損益	32,147			
累積欠損金	98,116			
経常収支比率	104.9		105.6	102.4
医業収支比率	74.0		85.1	63.8
修正医業収支比率	68.4		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	32.2		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	47.4		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	32.2		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	71.2		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,032,192
1 固定資産	536,871
(1) 有形固定資産	536,287
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	360
2 流動資産	495,321
(1) 現金及び預金	379,774
(2) 未収金及び未収収益	111,607
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,940
3 繰延資産	-
負債合計	485,823
1 固定負債	187,256
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	187,256
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	72,045
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,608
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,854
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,742
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	226,522
(1) 長期前受金	367,533
(2) 長期前受金収益化累計額()	141,011
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	546,369
1 資本金	635,985
2 剰余金	-89,616
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-89,616
負債・資本合計	1,032,192
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,698	224,698
資本勘定繰入	45,232	88,660
計	269,930	313,358

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	高千穂町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,351 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	91.4	88.1	90.6
療養	60	76.3	65.1	79.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	83.9	76.6	84.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.6	22.6	21.0

設立団体の状況	
人口(人)	11,642
決算規模(千円)	9,791,555
標準財政規模(千円)	5,211,285
財政力指数	0.24
経常収支比率(%)	83.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	5.7
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,243,803			
1 経常収益	2,243,803			
(1) 医業収益	1,943,834			
(うち修正医業収益)	1,905,258			
入院収益	1,018,913			
外来収益	820,426			
診療収入計	1,839,339			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	104,495			
(うち他会計負担金)	38,576			
(2) 医業外収益	299,969			
(うち国・都道府県補助金)	60,125			
(うち他会計補助・負担金)	127,529			
(うち長期前受金戻入)	69,670			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,234,084			
2 経常費用	2,233,768			
(1) 医業費用	2,121,501			
職員給与費	1,283,163	66.0	60.2	66.7
材料費	296,812	15.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	144,999	7.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	151,813	7.8	11.6	9.2
減価償却費	161,761	8.3	9.0	10.4
経費	375,425	19.3	22.5	28.7
(うち委託料)	203,405	10.5	12.5	13.3
研究研修費	1,904			
資産減耗費	2,436			
(2) 医業外費用	112,267			
(うち支払利息)	25,981	1.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	316			
損益	10,035			
純損益	9,719			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		105.6	105.7
医業収支比率	91.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	89.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	93.0		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,899,077
1 固定資産	3,042,084
(1) 有形固定資産	2,971,873
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	69,833
2 流動資産	856,993
(1) 現金及び預金	527,112
(2) 未収金及び未収収益	313,103
(3) 貸倒引当金()	286
(4) 貯蔵品	17,064
3 繰延資産	-
負債合計	2,020,861
1 固定負債	962,907
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	929,731
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	33,176
2 流動負債	359,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	161,211
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	72,268
(6) リース債務	18,229
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	102,332
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	698,029
(1) 長期前受金	1,298,276
(2) 長期前受金収益化累計額()	600,247
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,878,216
1 資本金	709,586
2 剰余金	1,168,630
(1) 資本剰余金	283,291
(2) 利益剰余金	885,339
負債・資本合計	3,899,077
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,162	166,105
資本勘定繰入	144,614	133,895
計	366,776	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	日之影町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,378 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	50	66.6	53.4	45.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	66.6	53.4	45.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	32.3	25.5

設立団体の状況		
人口(人)	3,635	
決算規模(千円)	5,550,481	
標準財政規模(千円)	3,177,677	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	79.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	651,760			
1 経常収益	651,625			
(1) 医業収益	507,049			
(うち修正医業収益)	474,171			
入院収益	225,958			
外来収益	203,057			
診療収入計	429,015			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	78,034			
(うち他会計負担金)	32,878			
(2) 医業外収益	144,576			
(うち国・都道府県補助金)	1,982			
(うち他会計補助・負担金)	129,911			
(うち長期前受金戻入)	9,962			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	135			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	650,944			
2 経常費用	648,658			
(1) 医業費用	621,950			
職員給与費	372,583	73.5	60.2	76.8
材料費	106,236	21.0	25.3	14.4
(うち薬品費)	92,456	18.2	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,780	2.7	11.6	6.0
減価償却費	43,124	8.5	9.0	11.4
経費	97,446	19.2	22.5	31.5
(うち委託料)	64,912	12.8	12.5	14.5
研究研修費	222			
資産減耗費	2,339			
(2) 医業外費用	26,708			
(うち支払利息)	4,143	0.8	1.2	1.4
(3) 特別損失	2,286			
経常損益	2,967			
損益	純損益	816		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.5		105.6	103.4
医業収支比率	81.5		85.1	74.3
修正医業収支比率	76.2		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	25.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	32.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	25.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	75.4		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,124,723
1 固定資産	716,195
(1) 有形固定資産	698,380
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	17,704
2 流動資産	408,528
(1) 現金及び預金	316,613
(2) 未収金及び未収収益	90,319
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,596
3 繰延資産	-
負債合計	455,906
1 固定負債	291,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	289,442
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	2,497
2 流動負債	84,997
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,895
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	22,292
(6) リ一ス債務	775
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,845
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	78,970
(1) 長期前受金	150,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	71,719
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	668,817
1 資本金	575,195
2 剰余金	93,622
(1) 資本金剰余金	1,802
(2) 利益剰余金	91,820
負債・資本合計	1,124,723
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,794	162,789
資本勘定繰入	36,616	14,502
計	199,410	177,291

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				宮城県	
市町村・組合名	五ヶ瀬町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	36	56.8	54.5	56.4
療養	18	74.1	70.7	71.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	62.6	59.9	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	20.2	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,472	
決算規模(千円)	4,954,638	
標準財政規模(千円)	2,688,924	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	87.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	620,116			
1 経常収益	620,116			
(1) 医業収益	440,423			
(うち修正医業収益)	402,923			
入院収益	240,219			
外来収益	128,303			
診療収入計	368,522			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	71,901			
(うち他会計負担金)	37,500			
(2) 医業外収益	179,693			
(うち国・都道府県補助金)	2,875			
(うち他会計補助・負担金)	152,500			
(うち長期前受金戻入)	22,759			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	619,084			
2 経常費用	617,945			
(1) 医業費用	597,523			
職員給与費	332,906	75.6	60.2	76.8
材料費	41,836	9.5	25.3	14.4
(うち薬品費)	23,921	5.4	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,915	4.1	11.6	6.0
減価償却費	40,237	9.1	9.0	11.4
経費	182,093	41.3	22.5	31.5
(うち委託料)	60,324	13.7	12.5	14.5
研究研修費	176			
資産減耗費	275			
(2) 医業外費用	20,422			
(うち支払利息)	5,356	1.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	1,139			
経常損益	2,171			
純損益	1,032			
累積欠損金	23,991			
経常収支比率	100.4		105.6	103.4
医業収支比率	73.7		85.1	74.3
修正医業収支比率	67.4		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	30.6		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	43.1		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	30.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	69.6		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,123,810
1 固定資産	748,341
(1) 有形固定資産	747,470
(2) 無形固定資産	871
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	375,469
(1) 現金及び預金	302,144
(2) 未収金及び未収収益	67,408
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,916
3 繰延資産	-
負債合計	541,811
1 固定負債	290,546
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	290,546
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	102,616
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,290
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,773
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,553
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	148,649
(1) 長期前受金	225,797
(2) 長期前受金収益化累計額()	77,148
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	581,999
1 資本金	248,796
2 剰余金	333,203
(1) 資本金剰余金	355,884
(2) 利益剰余金	-22,681
負債・資本合計	1,123,810
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	190,000	190,000
資本勘定繰入	368	368
計	190,368	190,368

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。